

令和 2 年 度  
事 業 報 告 書

社会福祉法人あけぼの会

## 【目次】

令和2年度事業報告	3項
1. 法人概要	4項
2. 事業内容	5項
3. 職員状況	5項
4. 理事会等開催状況	6～7項
(1) 理事会	
(2) 評議員会	
(3) 評議員選任・解任委員会	
5. 指導監査等報告	7項
(1) 東豊中ひだまり保育園	
6. 施設の運営実績報告	8～14項
(1) 保育理念・方針・目標	
(2) 各施設事業報告	
7. 施設の整備等事業報告	15～16項
(1) (仮称)上野ひだまり保育園整備事業	
8. 職員研修参加回数	17項
9. 苦情・事故報告	17～23項
(1) 苦情・事故件数	
(2) 苦情・事故内容	

## 令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が社会に大きな影響を及ぼし、経験したことのない災害といえる状況であった。パンデミックによる未曾有の経済停滞にさらされる中、予定されていた東京オリンピック・パラリンピックは延期となり、その後も感染症は収束を迎えることはなかった。

法人各施設では蔓延を防ぐために発令された「緊急事態宣言」の趣旨を踏まえ、子どもの安全を守るために、4月、5月の2ヶ月間、医療従事者等社会機能維持者以外の家庭は出来る限りの登園自粛の協力を要請した。

各施設では最大限の感染予防対策をしながら保育を行ってきたところではあったが、職員1名が陽性となり2日間の休園を余儀なくされた。幸いクラスターの発生には至らずその後は通常どおりの保育を行ってきた。

コロナで始まりコロナで終わるという年となったが、その中で事業計画のとおり令和3年4月開園に向け（仮称）上野ひだまり保育園の整備を行い、令和3年3月31日付、無事に認可に至っている。豊中市に於いては平成27年度以降、0～2歳児までを受け入れる保育所が急増した影響から3歳児以降の受入枠の不足が懸念されている。そうした中、3歳児以降の定員確保が趣旨となる本事業は大変意義のある事業だったと言えるだろう。

また新型コロナウイルス感染症の影響で少子高齢化に拍車がかかることが懸念される中、今後、法人の中心事業である0～2歳児の保育所から先に定員が割れ、安定した運営に支障をきたすことが予想される。しかし充実した環境かつ就学前まで一貫した保育の提供を行える施設を運営することで、姉妹園と2歳児以降の受け入れ先になる等の連携を取ることが出来る。法人としても長期安定的に運営していく上で意義のある事業であっただろう。

## 1. 法人概要

- ・主たる事務所 大阪府豊中市柴原町2丁目14番1号
  
- ・設 立 平成27年1月9日
  
- ・法 人 理 念  
○個人の人権を尊重し、健全な心身の発達と保持を保障するとともに、最善のサービスの提供に努めます。  
○地域社会に開かれた施設として、地域福祉の拠点となり、社会貢献に努めます。
  
- ・役 員 等  
理 事 長 安家 比呂志  
理 事 竹内 一利  
理 事 永井 敏輝  
理 事 本岡 和己  
理 事 小島 美恵  
理 事 安家 幸志  
監 事 河西 良雄  
監 事 山村 行仁  
評 議 員 得 喜之丞  
評 議 員 田ノ岡 敏雄  
評 議 員 鵜飼 真理子  
評 議 員 日野 正信  
評議員選任解任委員 吉田 雅彦  
評議員選任解任委員 奥田 壮記

## 2. 事業内容

(第二種社会福祉事業)

種 別	名 称	所 在 地
保 育 所	あけぼのひだまり保育園	豊中市柴原町 2-14-1
小規模保育事業A型	東豊中ひだまり保育園	豊中市東豊中町 5-4-5
保 育 所	豊中ひだまり保育園	豊中市岡上の町 2-1-8
保 育 所	東泉丘ひだまり保育園	豊中市東泉丘 2-12-18
保 育 所	羽鷹池ひだまり保育園	豊中市少路 1-15-52
保 育 所	中桜塚ひだまり保育園	豊中市中桜塚 4-11-17

## 3. 職員状況

区 分	職 員 数		
	平成 30 年度末	令和元年度末	令和 2 年度末
あけぼのひだまり保育園	20名	19名	21名
東豊中ひだまり保育園	11名	12名	12名
豊中ひだまり保育園	18名	21名	22名
東泉丘ひだまり保育園	22名	25名	23名
羽鷹池ひだまり保育園	21名	26名	26名
中桜塚ひだまり保育園	16名	16名	15名
合計	108名	119名	118名

#### 4. 理事会等開催状況

##### (1) 理事会

開催日	議 案
4月10日	整備予定地取得に係る土地売買契約締結（案） 土地取得資金借入（案）
4月27日	（仮称）上野ひだまり保育園開設工事に係る入札公告（案）
5月20日	（仮称）上野ひだまり保育園開設工事に係る入札参加者（案） （仮称）上野ひだまり保育園開設工事 入札に係る現場説明事項（案）
6月12日	令和元年度 事業報告（案） 令和元年度 決算報告（案） 定款変更申請（案） 評議員会決議の省略（案）
6月15日	（仮称）上野東ひだまり保育園開設工事に伴う入札に係る予定価格（案）
6月27日	（仮称）上野東ひだまり保育園開設工事に伴う工事請負契約締結（案） （仮称）上野東ひだまり保育園開設工事に伴う設計監理業務委託契約締結（案）
8月21日	諸規程改定（案） 施設・設備整備積立資産の目的外使用に係る取崩（案）
2月22日	（仮称）上野東ひだまり保育園園庭等整備に伴う工事請負契約締結（案）
3月8日	令和2年度 第一次補正予算（案） 令和3年度 事業計画（案） 令和3年度 当初予算（案） 令和3年度 施設長任免（案）

(2) 評議員会

開催日	議 案
6月16日	令和元年度 事業報告 (案) 令和元年度 決算報告 (案) 定款変更申請 (案)

(3) 評議員選任・解任委員会

開催無し

5. 指導監査等報告

(1) 東豊中ひだまり保育園

・実施日 令和2年11月12日

・結果内容

区 分	指 摘 内 容	状 況
職員処遇	指摘事項無し	
利用者支援	指摘事項無し	
食事提供	指摘事項無し	
施設会計	指摘事項無し	

## 6. 施設の運営実績報告

### (1) 保育理念・方針・目標

〈保育理念〉 生涯にわたる生きる力の基礎を培う

〈保育方針〉 ○子どもの生活が豊かになるよう人的環境・物的環境（人・物・場）  
などが相互に関連し合える環境を構成する

○子ども自身が心情・意欲・態度が発揮できる環境を構成する

○豊かな生活体験の中で、感じたり、気付いたり、理解できたりする  
環境を構成する

〈保育目標〉 ○生活を通して自分を発揮できる素地を培う

○生活を通して思いやりが持てる心を育む

○生活を通して健康な心身を育む



(2)各施設事業報告

あけぼのひだまり保育園

種別		保育所			
所在地		豊中市柴原町 2-14-1			
事業開始日		平成 27 年 4 月 1 日			
施設長名		奥田 壮記			
開園時間		07 : 00～19 : 00			
定員		0 歳	1・2 歳	合計	稼働率
		6	24	30	
入所児童数	4 月	4	28	32	106.6%
	5 月	6	28	34	113.3%
	6 月	6	27	33	110.0%
	7 月	6	27	33	110.0%
	8 月	6	27	33	110.0%
	9 月	6	27	33	110.0%
	10 月	6	27	33	110.0%
	11 月	6	27	33	110.0%
	12 月	6	28	34	113.3%
	1 月	6	27	33	110.0%
	2 月	6	27	33	110.0%
	3 月	6	27	33	110.0%
	平均	5.83	27.25	33.08	110.2%
	職員数	施設長	1 名		
保育士		14 名 (内非常勤 5 名)			
栄養士		2 名			
調理員		2 名 (内非常勤 2 名)			
看護師		1 名			
その他		1 名 (内非常勤 1 名)			
計		21 名			
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育 ・ 延長保育 ・ 一時預かり事業 ・ 病児保育事業</li> <li>・ 障がい児保育 ・ 子育て支援 (園庭開放、ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談、世代間交流)</li> </ul>			

東豊中ひだまり保育園

種別	小規模保育事業 A 型				
所在地	豊中市東豊中町 5-4-5				
事業開始日	平成 28 年 4 月 1 日				
施設長名	竹中 さゆり				
開園時間	07 : 00 ~ 19 : 00				
定員	0 歳	1・2 歳	合計	稼働率	
	3	16	19		
入所児童数	4 月	0	18	18	94.7%
	5 月	1	18	19	100.0%
	6 月	2	17	19	100.0%
	7 月	3	19	22	115.7%
	8 月	3	19	22	115.7%
	9 月	3	19	22	115.7%
	10 月	2	19	21	110.5%
	11 月	3	19	22	115.7%
	12 月	3	18	21	110.5%
	1 月	3	19	22	115.7%
	2 月	3	18	21	110.5%
	3 月	3	17	20	105.2%
	平均	2.41	18.33	20.75	109.2%
職員数	施設長	1 名			
	保育士	8 名 (内非常勤 1 名)			
	栄養士	1 名			
	看護師	1 名			
	その他	1 名 (内非常勤 1 名)			
	計	12 名			
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育 ・ 延長保育 ・ 病児保育事業 ・ 障がい児保育</li> <li>・ 子育て支援 (ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談)</li> </ul>				

豊中ひだまり保育園

種別		保育所			
所在地		豊中市岡上の町 2-1-8			
事業開始日		平成 28 年 9 月 1 日			
施設長名		酒井 明菜			
開園時間		07 : 00～19 : 00			
定員		0 歳	1・2 歳	合計	稼働率
		6	33	39	
入所児童数	4 月	6	26	32	82.0%
	5 月	6	28	34	87.1%
	6 月	6	28	34	87.1%
	7 月	6	28	34	87.1%
	8 月	6	28	34	87.1%
	9 月	6	30	36	92.3%
	10 月	6	29	35	89.7%
	11 月	6	30	36	92.3%
	12 月	6	33	39	100.0%
	1 月	6	33	39	100.0%
	2 月	6	33	39	100.0%
	3 月	6	32	38	97.4%
	平均	6.00	29.83	35.83	91.8%
	職員数	施設長	1 名		
保育士		15 名 (内非常勤 2 名)			
栄養士		2 名			
調理員		2 名 (内非常勤 2 名)			
看護師		1 名			
その他		1 名 (内非常勤 1 名)			
計		22 名			
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育 ・ 延長保育 ・ 病児保育事業 ・ 障がい児保育</li> <li>・ 子育て支援 (ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談)</li> </ul>			

東泉丘ひだまり保育園

種別		保育所			
所在地		豊中市東泉丘 2-12-18			
事業開始日		平成 29 年 4 月 1 日			
施設長名		堺 理絵			
開園時間		07 : 00 ~ 19 : 00			
定員		0 歳	1・2 歳	合計	稼働率
		12	44	56	
入所児童数	4 月	8	43	51	91.0%
	5 月	13	43	56	100.0%
	6 月	12	44	56	100.0%
	7 月	12	44	56	100.0%
	8 月	12	43	55	98.2%
	9 月	12	44	56	100.0%
	10 月	12	43	55	98.2%
	11 月	12	44	56	100.0%
	12 月	12	41	53	94.6%
	1 月	12	41	53	94.6%
	2 月	12	41	53	94.6%
	3 月	12	41	53	94.6%
	平均	11.75	42.66	54.41	97.1%
	職員数	施設長	1 名		
保育士		18 名 (内非常勤 1 名)			
栄養士		1 名			
調理員		1 名			
看護師		1 名			
その他		1 名 (内非常勤 1 名)			
計		23 名			
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育 ・ 延長保育 ・ 一時預かり事業 ・ 病児保育事業</li> <li>・ 障がい児保育 ・ 子育て支援 (園庭開放、ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談)</li> </ul>			

羽鷹池ひだまり保育園

種別		保育所					
所在地		豊中市少路 1-15-52					
事業開始日		平成 30 年 4 月 1 日					
施設長名		小島 美恵					
開園時間		07 : 00～19 : 00					
定員		0 歳	1・2 歳	3 歳	4・5 歳	合計	稼働率
		9	22	16	32	79	
入所児童数	4 月	8	23	18	34	83	105.0%
	5 月	8	23	18	35	84	106.3%
	6 月	7	23	18	35	83	105.0%
	7 月	9	23	18	35	85	107.5%
	8 月	9	23	18	35	85	107.5%
	9 月	9	23	18	35	85	107.5%
	10 月	9	23	18	35	85	107.5%
	11 月	9	23	18	35	85	107.5%
	12 月	9	23	18	35	85	107.5%
	1 月	9	23	18	35	85	107.5%
	2 月	9	23	18	35	85	107.5%
	3 月	9	23	18	35	85	107.5%
	平均	8.66	23.0	18.0	34.91	84.58	107.0%
	職員数	施設長	1 名				
保育士		19 名 (内非常勤 9 名)					
栄養士		2 名					
調理員		2 名 (内非常勤 2 名)					
看護師		1 名					
その他		1 名 (内非常勤 1 名)					
計		26 名					
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常保育 ・延長保育 ・一時預かり事業 ・病児保育事業</li> <li>・障がい児保育 ・子育て支援 (園庭開放、ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談) ・こども食堂</li> </ul>					

中桜塚ひだまり保育園

種別		保育所			
所在地		豊中市中桜塚 4-11-17			
事業開始日		平成 30 年 4 月 1 日			
施設長名		岡本 優子			
開園時間		07 : 00 ~ 19 : 00			
定員		0 歳	1・2 歳	合計	稼働率
		3	17	20	
入所児童数	4 月	3	21	24	120.0%
	5 月	3	21	24	120.0%
	6 月	3	21	24	120.0%
	7 月	3	21	24	120.0%
	8 月	3	21	24	120.0%
	9 月	3	21	24	120.0%
	10 月	3	21	24	120.0%
	11 月	3	21	24	120.0%
	12 月	3	21	24	120.0%
	1 月	3	21	24	120.0%
	2 月	3	21	24	120.0%
	3 月	3	21	24	120.0%
	平均	3.00	21.00	24.00	120.0%
	職員数	施設長	1 名		
保育士		8 名 (内非常勤 2 名)			
栄養士		1 名			
調理員		2 名 (内非常勤 2 名)			
看護師		1 名 (内非常勤 1 名)			
その他		2 名 (内非常勤 2 名)			
計		15 名			
実施事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常保育</li> <li>・ 延長保育</li> <li>・ 病児保育事業</li> <li>・ 障がい児保育</li> <li>・ 子育て支援 (ひだまり広場、あかちゃんの駅、育児相談)</li> </ul>			

## 7. 施設の整備等事業報告

### (1) (仮称) 上野ひだまり保育園整備事業

(仮称) 上野ひだまり保育園整備事業について、令和3年4月1日の開園を目標に令和2年7月に本体工事の着工を迎えた。また、園児により良い環境を提供する為、隣接の売地を購入し、園庭として整備することとし、令和3年3月に着工した。本体及び園庭工事は3月末に完成を迎え無事に認可に至った。豊中市に於いて平成27年以降の小規模保育所急増の影響から3歳児以降の受け入れ枠不足が懸念される中、本事業は大変意義のある事業であり、それを念頭に法人としても地域のニーズに応えるべく運営に取り組んでいく所存である。

#### < 施設概要 >

- ・施設名 上野ひだまり保育園
- ・種別 保育所
- ・所在地 大阪府豊中市上野東1丁目20番47号
- ・定員

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
内訳	3名	5名	6名	22名	22名	22名	80名

- ・建築概要 構造：鉄骨造 耐火建築物 地上3階建  
面積：敷地面積（1156.93㎡）、建築面積（299.39㎡）  
延床面積（663.65㎡）、園庭面積（670.00㎡）
- ・事業開始年月日 令和3年4月1日

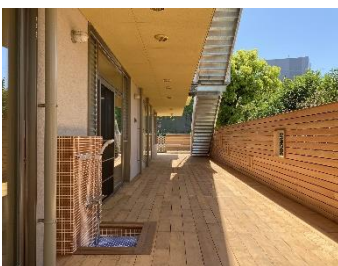
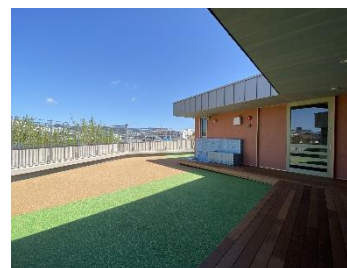
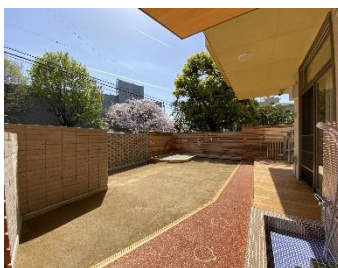
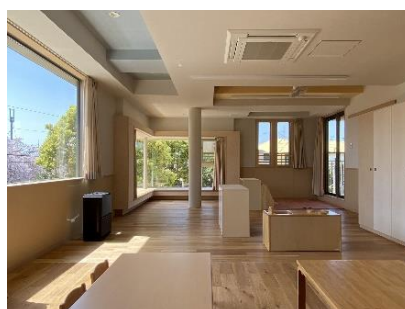
< 事業費 >

※本体整備事業

本体整備費	319,000千円	借入金	115,000千円
設計監理費	25,300千円	補助金	181,761千円
		自己資金	47,539千円
支出合計	344,300千円	計	344,300千円

※園庭整備事業

土地取得費	180,000千円	借入金	150,000千円
園庭整備費	22,000千円	自己資金	53,600千円
設計監理費	1,600千円		
支出合計	203,600千円	計	203,600千円





## 8. 職員研修参加回数

区 分	職員数	研修参加数		
		園 外	園 内	計
あけぼのひだまり	21	15	10	25
東豊中ひだまり	12	13	33	46
豊中ひだまり	22	8	35	43
東泉丘ひだまり	23	15	18	33
羽鷹池ひだまり	26	23	73	96
中桜塚ひだまり	15	8	22	30
計	118	82	191	273

## 9. 苦情・事故報告

### (1) 苦情・事故件数

区 分	苦 情	事 故			
		屋内	屋外	敷地外	計
あけぼのひだまり	0	3	2	2	7
東豊中ひだまり	1	5	1	1	7
豊中ひだまり	0	3	1	1	5
東泉丘ひだまり	6	1	2	1	4
羽鷹池ひだまり	4	2	0	2	8
中桜塚ひだまり	2	4	0	1	5
計	13	18	6	8	36

(2) 苦情・事故内容

あけぼのひだまり保育園

<苦情> 該当無し

日時	内容	対応	検証・課題

<事故>

日時	内容	対応	検証・課題
7月7日	本児が右手に持っている玩具を、斜め後方にいる保育者へ渡そうとした際、力が抜けたように右腕を下ろし泣き出す。	右手を使おうとしない為、囑託医の小児科へ受診。右肘亜脱臼と診断。整復しその後様子観察を行う。	受診後、保護者のヒアリングにて家庭でも過去に右肘が抜けたことがあったことを知る。脱臼は癖づくことから、今後も抜けやすいことが想定されるため、注意する様に職員間で周知を行った。
7月16日	他児との物の取り合いから、右頬を噛まれる。	患部を流水で流した後に冷却。腫れ及び傷があり、噛み痕も強く残っていた為、皮膚科へ受診する。特別な処置はなく、経過観察となる。	乳児の発達段階において、自分の気持ちを言葉で伝えることが難しい子どもが、今回の様に噛みつく行動をとる姿はよく見られる。保育中の職員の連携を密に座る位置に意識しながら子どもたちを見守り、時には子ども同士の仲介に入ること、子どもたちが関わり合いながら安心して過ごせる環境を整えていく様に職員間で周知を行った。
8月19日	保育室にて、本児が首を左右に激しく振り出したところ、勢い余って棚に左頬を打ち付ける。	左頬に裂傷が確認できた為、外科を受診。数ミリの傷口に、滲む程度の出血だったことから、消毒及びテープとガーゼによる固定処置を受ける。	子どもは突発的な行動にすることがある為、激しい動きをした際は、周囲に危険がないか確認しながら、本児が落ち着くことができるように声掛け等を行うようにする。
9月2日	朝の登園時、自宅前で子どもが乗った自転車が転倒し、顎を裂傷。	登園前のケガではある為、保護者がそのまま受診。保育園は日本スポーツセンターに給付申請を行った。	定期的に保護者の方々に自転車の利用における注意点を啓蒙していく。
11月19日	園外保育中の公園にて本児が転倒する。	左腕を痛がる様子が見られた為、整形外科へ受診。左肘内障と診断される。整復し経過観察。	今後も転倒した際などは、外傷のみならず怪我の確認を入念に行い、疑わしき際は速やかに受診する。
12月4日	園庭にて転倒した際、テラスに右手小指及び額を打ち、小指裂傷、額打撲。	小指の出血が続いた為、受診。額打撲に問題なし。右手小指は受診時にはほぼ止血、テープにて傷口固定。	現場検証を行うが、テラスがささくれているなど危険な状況は確認できず。引き続き園庭の安全点検を定期的に行い、安全管理に努めるようにする。
2月16日	本児がいちご形の玩具を口に入れた際に、自分で取ることが出来なくなるのを職員が発見し、口から玩具を取り除く。	玩具を取り除いた際の上唇より出血を確認。歯のぐらつきは確認できないが、念の為に歯科を受診。歯に影響はないと診断を受ける。	年齢や児によっては何でも口に入れようとする為、規格より小さく、丸みがある形状で誤嚥する危険性がある玩具は提供しないよう、園内の玩具を定期的に見直す。

東豊中ひだまり保育園

< 苦情 >

日時	内容	対応	検証・課題
7月17日	1歳児男児の保護者より、4月に入園してから原因不明の怪我が多い様感じるご意見を頂く。	送迎時に直接声を掛け、転倒して口や額、頬を打つなど怪我が続いた事を謝罪する。再度話を聞くと、迎え時は父親が多く、どの様な状況で怪我をしたかを職員から伝えてはいるが、その経緯までは母親に伝わっておらず、いつの間にかできた原因不明の怪我と感じていた様子。怪我の経緯をメモにして渡すようにすると共に、再度気を付ける事を伝える。	歩行がまだ不安定な子どもも多い為、改めて危険がないか環境を見直し職員間で話し合っていく。又、玩具を持ったまま歩く事も多い為、手をつく事が難しい状況である、怪我に繋がる状況である事を踏まえて、本児にも伝えていく。物の配置、職員の付き方共に安全で安心できる環境と信頼関係を目指していく。

< 事故 >

日時	内容	対応	検証・課題
4月2日	登園時、自転車から降りて保護者が手を引いて園に向かおうとした際に、児が登園を拒んだため手が離れ、その反動で右側頭部をコンクリートの角で打つ。	冷却、裂傷や出血は無し。顔色良好で落ち着いているが、念の為に脳神経外科を受診する。	登園人数が同じ時間に重なり、落ち着いて登園する環境ではなかったかもしれない。以前から嫌な時は激しくなく姿が見られた為、登園のタイミングや様子を気に掛け必要に応じて援助していく。
6月4日	水分補給をしている際に、近くにいた他児が興味を持ち、左目から頬に掛けて掴みにかかる。その際、左目付近に指があたる。	左目に傷がないか視診後、念の為に眼科を受診する。	4月からの新入児であり、混合保育中の環境にまだ慣れていない様子だった為、興味がある姿や障りに行く姿を伝達し合い、様子に合わせて分かれて過ごすなども検討していく。
7月1日	保育室の仕切りにつかまり立ちをしていた際、尻もちをつき後ろにあった玩具のキッチン台との間で頭部がバウンドするような様子があり、唇を打ち出血。	上唇小帯より出血、圧迫止血を行う。念の為に歯科を受診する。	仕切りとキッチン台の間ではなく、別の所につかまり立ちに誘うようにする。歩行やつかまり立ちが盛んな時期だった為、危険や怪我の予測をたて、保育者間で声を掛け合うようにする。
9月3日	子ども同士で抱きつき、その勢いで転倒。仰向けの上に他児が重なるように倒れ、他児の頭部が左目下にあたる。	打撲部分を冷却。左目を視診すると薄く赤みが見えた為、眼科を受診する。	しばらく目薬をさして様子見の後完治。室内を走ったり他児に興味があり抱きついたりする姿が増えてきた為、落ち着いて遊ぶ事が出来るような環境やあそびの工夫をする。
10月15日	ラミネートをしたカードにアイクリップをつけて遊んでいた際、隣同士で座っていた児の内ひとりが目をこすり痛みを訴える。隣の児のカードがあたってと訴える。	本児の訴えがあった左目を視診。明らかな充血は無し。左目の目頭側が薄く充血している印象を受ける。念の為に眼科を受診する。	左目に目薬をさしてその後は様子見、完治。子どもたちにとっては遊びやすい玩具だが、隣同士の教理や手の位置を気に掛けたり、ラミネートより柔らかい素材を使用したりするなど工夫をする。
12月7日	排泄後、手洗い場前に抱っこから児が降りた際、足がつまづき転倒。傍にあった棚で下唇を打ち、出血。	上唇裏に2か所裂傷あり。圧迫止血を行う。稔夫為に歯科を受診をする。	抱っこから降りる際は、周りが安全な場所で行うようにする。また、歩行は可能な為、歩いて移動出来るような誘い掛けもしていく。
3月31日	戸外の遊歩道脇にある低い植木の傍で遊んでいた際、躓き植木に向かって転倒。小枝で鼻筋、右目の目じり側に擦り傷ができる。	擦り傷にワセリンを塗布。右目両サイドの傷だった為、念の為に眼科を受診する。	目の見え方・表面共に異常なし。本児は探索が好きなので、事前に予測をしたり職員同士で声を掛け合ったりして怪我を防ぐ。また、本児にも危険な場所は伝えていく。

豊中ひだまり保育園

<苦情> 該当無し

日時	内容	対応	検証・課題

<事故>

日時	内容	対応	検証・課題
9月10日	前日の9/9に左薬指を玩具で挟み、視診していたところ、左中指に黒っぽい筋状の線が入っていることを発見。確認するが何か刺さっているようなものは見られず、そのまま保護者にお伝えした。翌日保護者より棘のようなものが入っている感じがするとハンドブックに記載があった。	ハンドブックを読み、保護者の方に連絡を入れ、整形外科を受診。ゴーグルを付けて確認し、極々小さい物が刺さっていた為、ピンセットにて除去。少し傷になっている為、ゲンタシンと絆創膏にて保護。再診はなし。	保育時間に刺さった棘であったかは不明だが、朝の視診の徹底と、その後の対応について、改めて職員間で共通認識を行った。
10月17日	机に掴まり立ちをしながら、屈伸運動をして遊んでいた。座ろうとした際に机で顎を打ち、口内からの出血あり。右上前歯のところに点状に出血痕が2箇所と、生えかかっている部分にも出血があった。	歯科を受診し、歯茎に傷はあるが、歯に問題なく、処置なし。再診もなし。	掴まり立ちや伝い歩きをしている為、普段から見守っていたが、今回は遠くからの見守りだった為、すぐに止めることができなかったことが原因。普段から傍で見守ることを意識しながら、怪我に繋がらないように気を付けていく。
10月23日	絵本を読んでいた際、傍にある長椅子に立っていた他児が下りようとした際にバランスを崩し、本児の上に倒れて上に乗る体勢になった。その際に床で顔面を強打し、口元からの出血があった。	すぐに圧迫止血するが、左下口唇の傷と打撲痕あり。左下2番目の前歯をぶつけている可能性があった為、歯科を受診。レントゲンを撮影し、歯に問題なく、口唇の傷は薄皮がめくれた状態になっていた為、ワセリンで保護。再診はなし。	長椅子の上に立って遊ぶ子どもがいた際は、繰り返し危険なことを伝えていく。全体を見ながら保育者の配置に気を付け、傍に付くことが難しい場合は、長椅子を移動したり片付けたりしながら環境を整えていく。
11月11日	公園の滑り台から下りてくる際、スピードが出る為、足でブレーキをかけていた。下に滑ってきたところで足が引っ掛かり、1回転する。その後から左足膝裏に痛みを訴える。歩いたり走ったりすることはでき、腫れはないが、庇う様子が見られた。	整形外科を受診。レントゲン撮影は行わず視診し、軽い捻挫と診断。インテバン（痛み止めの塗り薬：数回/日）を処方される。再診はなし。	滑り台の状態や子どもが着ている服によって滑るスピードが変化する為、子どもの様子に合わせて保育者と一緒に滑ったり、怪我に繋がらないよう傍で見守ったりしていく。
3月5日	館内のエレベーター前で遊んでいた際、2グループに分かれて時差で帰園する。子ども6名、保育者2名の後半グループが帰ろうとした際、エレベーターのドアが開き子ども1名のみが乗ってドアが閉まり、そのまま1階へ動いた。1階から乗ってこられた方が保育園まで連れてきてくださった。	保育者1名がすぐに階段で1階まで下りるが、間に合わず、2階の保育園で泣き声が聞こえた為、すぐに本児の傍に駆け寄り視診を行う。	2グループに分かれて時差で帰園したが、帰りたくなかったり手を繋ぎたくなかったりと主張する子どもが後半グループに残っていた。グループのメンバー構成や子どもの動きを予測してその都度声を掛け合い配置に気を付ける。また園外での危機管理の徹底を再度認識していく。

東泉丘ひだまり保育園

<苦情>

日時	内容	対応	検証・課題
6月26日	前日の夕方に30分しか午睡できていない事を担当より伝達され帰宅。とても疲れていたのかミルクも飲まずに寝てしまった。7ヶ月の子どもが7時間保育園にいる中30分しか寝ていない事はおかしい。きちんと寝かせてほしい。	園長あての電話連絡であったため、話を伺い、担当にも状況確認を行う。状況確認後再度保護者へ連絡を入れて説明し納得される。	担当と前日の本児の日課の確認をする。いつもなら2度寝ていたがこの日は1度しか寝ていなかった。担当も気にしており何度か寝かしつけたが寝なかった。しかし保護者対応時にこちらにも気にして何度か寝かしつけようとしたことは伝えていなかったので詳細の対応をしっかりと行うことを押さえる。
7月1日	延長ギリギリのお迎えの中、玄関前でお迎え後の保護者や保育者が話をしている通れなかったり、玄関扉が開けられずに延長になってしまう等、お迎え後に玄関前で保護者が長居しないような注意喚起をしてほしい。	園長あてに手紙を頂く。その日の午後には職会を行い、手紙の内容説明と保護者対応に関する押さえを再度行う。夕方に玄関掲示を行い、玄関前での長居に関する注意喚起を行う。直接保護者へ再度話を伺い注意喚起した掲示の内容確認等をして頂く。	延長保育にかかるまでにお迎えに来られる保護者の方も多数おられる中、玄関前が混みあわないように、事務所などから気にかけてたり、個別で声をかけたりするようにしていく。
8月3日	玄関扉の鍵を閉めて下さいと貼りだしをしているが閉めない保護者がいるので徹底してほしい。また子どもの肌が乾燥したり肌が弱かったりした場合、職員は子どもの服を首から引っ張って脱がすのはやめてほしい。	ご意見ボックスの中に入っていた。鍵の施錠については、保護者に向けて掲示で貼り出して周知し、職員の子どもの服の着脱に関しては、腕から脱いで着脱するように再度伝える。	ご意見ボックスに投稿があったのは初めてなので、こまめにボックス内の確認を行うとともに、保育中の職員の子どもへの援助の方法については丁寧に行うよう気にかけていく。
10月2日	保育者が特定の子ども数人に対して強めの口調で声がけをしている場面を何度か目撃する。このような声の掛け方は法人の方針なのか分からなかった。また朝の忙しい時間帯だからか挨拶をしても目を合わせない職員がいる。	対応に出た主任より、子どもに対する声掛けの仕方は法人の方針ではない事、職員の対応に関しても不快な思いをさせて申し訳なかった事をお伝えする。職員へは職会で伝え、子どもへの声の掛け方について周知する。	朝のバタバタする時間帯での子どもへの関わり方や声のかけ方を意識化し、保護者に対する対応や基本の挨拶に関して丁寧に行っていくことを周知した。
12月19日	玄関の扉の鍵をかけるよう注意書きされているが鍵が閉められていない。注意書きが小さく気が付きにくいのではないか。コロナ禍の中、マスクをしていない保護者がいる。職員も注意していないので徹底するよう早急に対応してほしい。	ご意見ボックスの中に入っていた。すぐに玄関扉の注意書きは大きいサイズのテプラに貼り直し、保護者マスク着用の徹底に関しては、掲示と職員にも直接保護者へ声掛けするよう伝える。	朝夕の送迎が重なる時間帯の鍵の閉め忘れが多いので、注意書きを大きく目につきやすい場所に貼り直し様子を見る。保護者のマスク着用はしていない家庭が特定されるので、個別の声がけを行い、注意喚起していく。
2月4日	登園時に左折で園内駐車場に入ろうとした所、駐車場警備員が同時に来ていた右折車を先に駐車場に入れようとしたのでクラクションを鳴らすと、その後警備員に怒鳴られ、不愉快な思いをした。	登園後祖母より連絡が入り対応する。祖母の不愉快だった思いを聞き、警備員へ駐車場案内やルールを再度伝える。ルールをプリントにして警備員へ渡した。	以前より警備員の対応に関して他の保護者から相談されることや、実際現場を見てこちらから注意することも多かったため、今後の駐車場誘導や保護者対応を十分気を付けて見ていく。

<事故>

日時	内容	対応	検証・課題
7月20日	夕方混合保育中に、木製パズルの取り合いになり噛みつきこうとした為、咄嗟に止めた所パズルの枠が右こめかみに当たり皮がむけて出血する	傷口をすぐ確認して流水で洗い止血する。お迎え時間が近かったため迎えを待ち、母と相談して翌日母と共に皮膚科を受診する。	咄嗟に出た行動が怪我に繋がってしまったので、トラブルを止める保育者側の勢いなどにも十分注意していきたい。
10月13日	避難訓練でピロティに避難し、室内に戻る際に出入り口の職員用サンダルにつまみかき転んだ拍子で後頭部を打ち、裂傷する	出血量が多かったためすぐに止血を行う。後頭部を打ち付けている事と裂傷していたため、脳神経外科を受診し、1針縫合する。	ピロティの出入り口に職員用サンダルが常時置かれているが、置き場など日頃から注意し、災害時避難の2次災害にならないよう気を付けていきたい。
12月25日	ピロティで遊んでいるとき、ピロティ内に止めてあった職員の自転車倒れ、左手に当たる。その後左手人差し指が腫れる。	少し様子を見ていたが、腫れが引かないため、整形外科を受診し異常なかった。	職員の自転車の置き方や場所など日頃から気を付けて駐輪していく。
3月29日	公園滑り台遊具の階段3段目当たりから落下し、下唇を裂傷する。	目の前の公園だったため、すぐに園に戻り止血する。出血量が多かった事と歯を打ち付けている可能性もあったため、歯科を受診。歯の異常もなく、唇の傷は日ごとによくなるので異常なかった。	園に帰園前のバタバタしている時だったが、職員間のポジションに十分気を付けていき、声を掛け合っていく。

## 羽鷹池ひだまり保育園

### <苦情>

日時	内容	対応	検証・課題
6月1日	薬局に車を停めて、子どもを迎えに行く保護者がいると、買い物に来た方から通報がある。	謝罪をし、お迎えの保護者を確認するがおらず。掲示板に注意の張り出しを行う。	買い物ついでに止められる方がいるかもしれないので、注意喚起を行う。
7月2日	近隣より送迎時に店の前に車を停めている保護者がいる。夜中に来るゴミ収集車の音がうるさくて目が覚めてしまう。時間変更して欲しい。	特定できたので、直接車を停めないように伝え、貼り出しをする。ゴミ収集の時間を午前8時に変更する。	車を停めている時に連絡を頂けたので、直接伝える事ができた。夜中の方が迷惑をかけないと思っていたが音への配慮がなかった。
7月6日	近隣より保護者が路上駐車していると連絡がある。車種・ナンバーも伝えられる。	謝罪し、直ぐに対応。	保護者へ守って頂く様伝える。
7月9日	業者の方が園前に車を停めていたが、停めない約束であると連絡がある。	謝罪し、直ぐに車を移動する。	以前から伝えていたこと。園の信用にも関わる事なので、周知、徹底をして頂く。

### <事故>

日時	内容	対応	検証・課題
6月4日	保育士6名、園児53名で遊びに行く。途中お茶休憩もはさみ、自由遊びが終了し、並び始めたころ1名いないことに気付く。	保育士2名は子どもと待機し、4名で公園内を探すが見当たらず園に電話。園から公園への通路も確認するがいなかったため、4名と子どもたちは帰園し、2名で引き続き探すことになる。母より家に帰って来たとき電話が入る。	遊び途中のお茶休憩の時には姿を確認。その後家に向かったものと思われる。保護者には時系列・検証・今後の取り組みについて説明をし謝罪をする。水筒を出入口近くに置いていたので、公園の真ん中に置く。全体を監視する職員を決める遊ぶ前に公園のルールを毎回確認する等取り決めをした。※当日母・兄・兄の友だちが遊びに来ていて、自分だけ保育園が嫌だったから帰ったとわかる。
10月2日	排泄交換台に立っていたので「降りようね」声を掛け身体に触れようとした所、勢いよくしゃがみ、おもちゃの棚で顎を打ち、舌を噛む。	受傷部位を確認し止血するが、なかなか止まらず、保護者に連絡し受診。鶴合はせず、止血の為にレーザー照射をする。	排泄交換後、台は片付ける。制止ではなく、遊びに迎えるような声掛けを心掛ける。
11月2日	朝の集い時、ピンクマットに向かおうとする子どもと、座っていて立ち上がろうとした子どもの口と額がぶつかる。	鼻と口から出血。止血後上唇小帯が切れていたため保護者連絡し受診。裂傷のみで歯のぐらつきはなく、消毒処置をする。	保育室全体が見える位置に座ることを常に意識しながら子どもたちの様子を見守る。気持ちが高まり、保育室を走る姿が見られる時には、その都度声を掛け落ち着いて過ごす事ができる様にする。
3月22日	雲梯にぶら下がり遊んでいた際、手を滑らせ落下。地面で左腕を強打する。	痛みを訴えた為、近くの整骨院を受診。骨折や脱臼は見られないとの診断であったが、幹部が腫れて熱を持ち始めており再度別の病院を受診し左腕上部の骨折が判明。	雲梯など怪我が起きやすい遊具で遊ぶ場合は、より注意して見守る。

## 中桜塚ひだまり保育園

### <苦情>

日時	内容	対応	検証・課題
6月1日	「園舎前の側溝から私有地内駐車場に泥が流れてきて困っている。」という内容の電話が園に直接かかってくる。側溝に溜まっている砂が連日の大雨で泥状態になって、近隣宅敷地内に流れてきているとのこと。	電話対応の際に、現状を聞いた上でお詫びをする。その後、直接側溝の状態を確認し、毎朝の掃除以外の時間帯にも落ち葉や砂が貯まっていることを把握する。	申し出のあった住宅側を中心に毎朝側溝掃除を行っているが、反対側の隣宅との境界部分にも泥や落ち葉が貯まりやすくなっている。日常の掃除だけではなく、悪天候が続いたり、落ち葉の多い時期等は頻繁に側溝掃除を行い対策を行うようにする。
7月2日	駐停車禁止となっている園前の道路に車を停めて送迎している保護者がいる。ルールを守ってほしい。	左記の内容を把握した日に、玄関に内容を貼り出し、保護者への情報発信を行う。	車送迎に関しては、園が契約している駐車場の利用を申込制で行っているが、天気の悪い日や保護者以外の方が送迎する際に、駐車場を利用していないことも予想される。園前道路に駐車している光景を見かけた際には、職員自ら声を掛けてルールの周知を図っていく。

### <事故>

日時	内容	対応	検証・課題
9月9日	保育室内を走っていた子どもの足が窓枠のサッシに引っ掛かり転倒する。その際に床で口元を強打する。	上嘴唇と前歯の歯茎から出血が見られ、歯のぐらつきもあった為、歯科を受診する。レントゲン撮影及び視診にて、歯の欠損や亀裂は確認されず、様子観察となる。	本児が転倒した際に保育者二名が同じ室内にいたが、一人は集い時の絵本を読んでおり、もう一人は他児の検温中であった。子どもの行動を予測しながら、保育者のポジションや動きに対して柔軟に対応していく。
10月14日	保育室内で何かを探そうように歩いていた子どもが振り向き、首を横に傾けた際に棚の角で左頬を打つ。	職員が患部を確認すると、左臉上に1cm程の傷があり、出血と腫れが見られる。圧迫止血を行うが、出血が治まらず外科を受診する。	朝の集い時の出来事であり、職員の配置は上記の事故と同様である。子どもの見守り方は年齢に応じて異なるが、単独行動をしている子どもの姿を職員の視界から外さないように意識していく。
11月5日	子ども同士のトラブルの後、泣きながら立ち上がった子どもが数歩歩いて転倒する。その際に子ども用手洗い場の淵で右頬付近を強打する。	看護師が視診し、右目眼球に傷や充血は見られなかったが、患部が腫れ内出血していた為、眼科を受診する。医師による診断で、腫れ以外の異常は確認されず、患部に塗布する軟膏を処方され、1週間後の再診となる。	歩行をし始めた頃の子どもの怪我であり、職員の危険予測が十分に出来ていなかった。四肢の発達と共に、子どもの行動範囲もどんどん広がる為、低年齢児に起こりやすい事故や怪我の検証を職員間で行い、情報共有していく。
12月14日	高さ85cmの引き戸を職員が開けた際に、引き戸の裏側で上部にある鍵を触っていた子どもが転倒し、傍にあった木製絵本棚の淵で顔面を打つ。	口腔内を確認すると、前歯の歯茎がぐらつき、出血も見られた為、歯科医を受診する。レントゲン撮影及び視診にて歯の欠損や亀裂は確認されず、経過観察となり一週間後に再診となる。	引き戸の裏側にいた子どもの姿が職員側からは見えづらく、十分な距離が確保されないまま扉を開けたことが原因と考えられる。子どもに対して声掛けだけではなく、手を繋いで誘導する等、再発防止に努めていく。
1月14日	公園内で草むらの斜面部分を下っていた子どもが、途中で転倒し左眉毛上を裂傷する。	公園内の水道で出血している部分を洗い流し、止血する。患部の傷が深かった為、園に戻りその後、整形外科を受診する。患部に軟膏を塗布されテーピングの処置となる。	戸外で活発に遊ぶ子どもが不可抗力によって転倒し怪我をしたケースである。転倒した際の体位によっては、乳児の大怪我につながることも予想される為、保育者が子どもに手が届く距離を保ちながら見守るようにしたい。